



あすなろ通信

6月
2025年
6月号
June



今月の行事

- 3日(火) 外国語活動
- 9日(月) カウンセリング
- 13日(金) 食育
- 18日(水) 理科学習
- 23日(月) ヨガ
- 25日(水) 美術活動

※18日(水) ~小中担任連絡会



本格的な梅雨の季節到来です。災害が起こりませんように！
健康に十分気をつけて、1学期のゴールを目指しましょう！

活動の様子 遠足 広瀬記念館・広瀬邸見学



神野先生による理科学習 年間5回実施予定



金丸先生によるヨガ 年間3回実施予定



【室長コラム】



あすなろ教室では、今年も「沖縄慰霊の日」について学びました。6月23日、この日は、太平洋戦争中に沖縄で命を落としたすべての人を追悼し、平和の尊さを見つめ直す日です。今から80年前、沖縄では日本で唯一の本土決戦が行われ、およそ20万人もの命が失われました。その中には、戦う兵士だけでなく、何の罪もない住民、子どもたち、年配の方々も含まれていました。爆撃や銃撃の恐怖、病気、けが、飢え、大切な人を失う悲しみなど、沖縄の人たちは想像を絶する苦しみと悲しみを経験したのです。

そんな沖縄の人たちは、沖縄戦が終結した6月23日を「慰霊の日」として、毎年黙とうをささげたり、平和について学んだりしています。戦争の記憶を風化させないためです。世代が変わりました。「戦争は昔の話」だと思っている人も増えています。でも、今この瞬間にも、世界では戦争や武力衝突が起きています。ロシアによるウクライナへの侵攻は、もう2年以上続いています。病院や学校が爆撃され、子どもたちが命を落とすこともあります。また、中東のガザ地区では、長年にわたる対立が激化し、無数の人々が避難生活を余儀なくされています。イスラエルとイランも戦争状態に突入し、アメリカも武力介入しました。国のリーダーの決断によって国家間の戦争が始まり、一般の民衆が犠牲になっています。私たちと同じように学び、遊び、夢を語っていた子どもたちが、ある日突然身の回りのすべてのものを奪われるのです。時には命までも…

沖縄の人々が語り継いできた「命どう宝（ぬちどうたから）」という言葉があります。「命こそが一番の宝だ」という意味の言葉です。戦争を経験した人たちは、命がどれほど尊く、どれほど大切なものかということをもっと知っています。同時に、大切にしなければどれだけ儚いものかということも知っています。そんな大切な命を守るために、私たちは努力によって平和を維持しなければならないのです。

まず、私たちは、平和な日々のありがたさとそれを守ることの大切さを自覚しなければなりません。そして、過去の戦争や現在進行中の争いから学び、「自分にできる平和への一歩」を考え、今自分がいる環境の中で行動することが大切なのです。たとえば、相手との差異を認め合うこと。意見が違って、相手の話をしっかり聞くこと。争いを見かけたら、見て見ぬふりをせず、声をかけたり、誰かに知らせたりすること。これらはすべて、「争わない社会」をつくるために自分でできる一歩です。

平和とは、「戦争がない状態」だけを指すものではありません。「安心して生きられること」「誰もが大切にされること」こそが平和なのです。「沖縄慰霊の日」に寄せて、過去だけでなく、今自分が生きている世界で苦しんでいる人々にも思いを馳せてみてください。そして、「どうしたら争いのない未来を作れるか」ということを考え、発言し、行動していきましょう。まず自分、それが世界の平和への第一歩です。

近藤先生による食育 年間3回実施予定



「あすなろ教室」

TEL 0897-37-7474

FAX 0897-32-6822

e-mail asunaro@city.niihama.lg.jp

